

第18回市議會臨時會

內 務 委 員 會

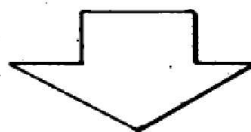
’93 主 要 業 務 報 告

民 防 衛 局

推 進 目 標

주민生活의 安全을 保護하는 民防衛

- 民防衛隊의 地域 自律防衛力量 強化
- 民防衛組織의 災難對處能力 培養



- 生活에 도움을 주는 民防衛施策 推進
- 不便・負擔을 덜어주는 民防衛制度 改善
- 共同體意識을 높여주는 民防衛基盤 造成
- 非常事態에 對備한 民防衛力量 提高

目 次

◇ 民防衛教育の 實用性 提高 -----	3
◇ 民防衛訓練の 實效性 増大 -----	4
◇ 民防衛隊組織の 效率的 管理 -----	5
◇ 住民自律警防態勢 強化 -----	6
◇ 人力動員態勢 強化 -----	7
◇ 非常給水施設の 擴充 -----	8
◇ 民防衛 警報施設 擴充 -----	9
◇ 化生防 裝備 物資 確保 -----	10
◇ 非常對備業務 推進 -----	11
◇ EXPO自願奉仕者 募集運營管理 ---	13

民防衛教育의 實用性提高

○ 生活民防衛 國民教育 強化로 國民自衛力量 擴充

○ 實技教育의 內實 推進으로 災難 對處能力 培養

☐ 推進方針

- 民防衛隊員 實技實習教育의 內實 運營
- 地域單位 自律教育運營體制 確立
- 教育負擔 輕減 및 便宜增進

☐ 推進計劃

- 一般隊員 教育
 - ・教育資源 : 56,348名
 - ・教育時間(時期) : 年 8時間 (上半期 3~6月, 下半期9~12月)
 - ・教育科目
 - 素養教育(2時間) : 民防衛隊員의 任務와 役割, 統一安保
 - 實技教育(6時間) : 集中豪雨時 對處要領, 水上安全 및 人名救助, 가스事故豫防等
- ※ 事前 徹底한 教育準備 : 實技實習器資材 確保(로프等 12鍾)
- 專門要員教育
 - ・技術支援隊員 教育(304名) : 3月中
 - ・水防機動隊 教育(415名) : 5月中
 - ・化生防分隊員 教育(4,050名) : 9月中
- 其他教育
 - ・民防衛隊長 教育(2,370名) : 3月, 6月
 - ・中央民防衛學校 教育 : 公務員 및 民防衛隊員中 14個課程 年中實施

[變更 · 發展]

- 新編隊員 年間 教育時間 調整
 - 20歲 : 12時間(新編教育4, 基本教育8) = 8時間(新編4, 基本4)
 - 34歲 : 4時間(新編教育) = 8時間(新編4, 基本4)
- 災難對備 學校 教育 實施
 - ・初.中.高等學校 學生 對象으로 災難教育 年 4時間 實施
 - ※ 市 教育教材(VTR테이프) 普及 : 368個

民防衛訓練의 實效性 增大

- 實用性 있는 訓練 實施로 事態收拾能力 培養
- 市民의 參與度 提高로 自律推進體制 構築

□ 推進方針

- 民防衛의 날 訓練은 民防空訓練과 災難對備訓練 並行 實施
- 事態 類型別로 共同對策을 樹立하고 有機的 協助體制 構策
- 戰時, 災難對備 國民行動要領의 持續的 弘報로 事態對應能力 蓄積

□ 推進計劃

- 民防空持避訓練 強化
 - ・ 回数 : 4回 (3.6.9.12月)
 - ※ 12月은 警戒警報취명만 實施
 - ・ 事態收拾訓練 및 交通統制訓練 : 13個所
- 脆弱地別 災難對備訓練 實施
 - ・ 山火 鎮火訓練 : 14個所
 - ・ 有毒가스 危險 對備 및 消防訓練 : 3個所
 - ・ 斷電, 斷水, 通信杜絶 對備訓練 : 32個所
 - ・ 雪害對備訓練 : 5個所
 - ※ 災難對備 國民行動要領의 集中的인 弘報(言論機關, 有線放送, 전단等)
- 每月 非常對備施設 裝備點檢 및 整備
 - ・ 非常給水施設, 共同住宅 貯水施設等 公共裝備 95,670點

[補完・發展]

- 住民不便 負擔을 大幅 減縮하고, 災難對應能力 向上
- 民防空 乘車待機 許容 區間 擴大 運營

民防衛隊組織의 效率的管理

- 實用性 있는 民防衛隊 編成과 運營의 活性化로
- 生活民防衛 爲主의 活用體制로 重点 育成

□ 推進方針

- 民防衛 漏落資源의 一齊調査等 徹底的 資源管理
- 民防衛隊 組織의 精銳化
- 民防衛隊 支援 擴大 誘導

□ 推進計劃

- 民防衛 漏落資源 一齊調査
 - ・ 期 間 : '93.3.2~3.31 (1個月間)
 - ・ 調査方法 : 除外事由消滅, 再審査對象者等 新規編成對象資源 重点調査 및 全數調査
- 日日決算制 確行 : 住民登録, 兵事, 民防衛擔當者 合同
- 技術支援隊 精銳化
 - ・ 任務分野別 技術所持者 및 有經驗者 確保(80%→100%)
- 效率性 있는 民防衛隊 檢閲
 - ・ 檢閲期間 : '93.5~9月 (全民防衛隊의 1/3隊)
 - ・ 檢閲着眼 : 事態對應能力 및 自體計劃樹立 推進의 適正性等
- 機動組織의 災難對備 中樞組織으로 育成 : 929隊 14,555名
 - ・ 機動組織의 必須裝備 最優先 確保
 - ・ 災難克服 優秀隊 및 有功隊員 士氣振作 (年末表彰)

住民自律警防態勢 強化

- 住民申告意識 定着과 自警活動 力量 提高로
- 犯罪와 無秩序를 退治하고 對共安保意識 鼓吹

□ 推進方針

- 既 組織된 住民申告網의 持續的인 整備 補強
- 住民申告의 對市民 警覺心 鼓吹
- 申告要員 및 申告責任者 士氣振作 方案 講究

□ 推進計劃

- 住民申告網 整備 補強
 - ・ 一齊整備：'93.3.1~3.31 (1個月間)
 - ・ 定期整備：'93.6月, 11月 (住民申告 集中弘報期間 並行)
 - ・ 整備對象：轉・出入者, 死亡者, 活動이 미온적인 者
- 申告責任者 및 申告要員의 士氣振作 方案 講究
 - ・ 公衆電話카드 製作 配付 (4月中)
 - ・ 模範申告要員 懇談會 開催, 表彰 및 褒賞金 支給
- 住民申告 集中弘報期間 設定 運營：年 2回 (6月,11月)
 - ・ 模擬訓練, 書翰文 發送, 各種 弘報物 製作 設置 및 配布
- 이웃간 防犯非常벨 效率的 運營 管理：16,694家口
 - ・ 家口別 點檢카드 管理 및 使用方法, 申告要領等 스티커 製作 附着
 - ・ 定期點檢制實施
 - 市：無作為抽出, 스팟點檢
 - 區：年2回(半期別 實施)
 - 洞：月1回(班常會날을 點檢의날로 指定運營)

人力動員態勢 強化

- 國家技術人力の 效率的인 管理로 國家動員에 對備하고
- 必要時 需要人力の 適期 支援으로 完璧한 任務遂行

□ 推進方針

- 平素 徹底한 資源管理와 資源調査의 正確性 圖謀
- 擔當公務員 및 動員 關聯 機關의 自律管理能力 提高

□ 推進計劃

- 效率的인 資源管理
 - ・ 重点管理 對象人力の 管理 強化
 - 重点管理對象者 指定時 指定原則 遵守 : 技術水準, 男子, 年少者 順
 - 變動資源의 迅速한 整理 및 代替補充 確行 : 變動事項 發生 即時
 - 動員指定者 事後管理 徹底 : 指定事實 通報, 指導激勵, 使命感鼓吹 및 禮遇強化
 - ・ 資源決算의 確行
 - 「資源決算의 날」運營 : 每週 金曜日 (洞)
 - 「重点管理對象資源 確認의 날」運營 : 每月 마지막金曜日 (區)
- '94 人力動員計劃 樹立을 爲한 一齊調査 實施
 - ・ 期 間 : '93.6.1~6.30
 - ・ 對 象 : 20~60歲者中 技術資格免許 取得者
 - ・ 方 法 : 全數調査 (書面調査 및 現地確認)
- 擔當公務員 및 重点管理對象業體의 人力管理能力 提高
 - ・ 業務擔當者 研鑽 및 教育實施 : '93.5月中
- 人力動員 實際訓練實施 : '93 乙支演習期間中 (100名)

非常給水施設の 擴充

- 上水道 給水中斷等 民防衛事態 發生時 卽刻 對處 活用할 수 있는 地域別 非常給水源을 最大 確保
- 平時 住民便宜 爲主로 開放하여 良質의 食水를 提供하고 非常給水에 대한 市民의 信賴性 提高

☐ 事業概要

- 期 間 : '93. 2 ~ '93. 6
- 事 業 量 : 7個所(東區1, 中區2, 西區2, 儒城區1, 大德區1)
- 規 模 : 1日 200T以上 取水可能施設
- 事 業 費 : 349,550千圓

☐ 推進計劃

- 人口 및 隣近 施設과의 거리勘案 地域別 偏在 止揚
- 施設位置는 可及的 交通이 便利한 都心外郭 選定
- 水源枯渴 및 水質豫防이 可能토록 地下岩盤水 開發
- 淡水臺設置로 利用市民 便宜提供
- 施設周邊 便益施設 設置 休息 및 對話의 場所 提供

民防衛 警報施設 擴充

- 民防衛 警報施設의 擴充으로 難聽地域을 年次的으로 解消
- 敵의 侵攻과 各種 災難으로부터 市民의 生命과 財産을 保護

☐ 推進方針

- 平時 地方行政 弘報用으로 活用可能한 電子式싸이렌으로 施設
- 緊急事態 發生時는 民防衛 警報體系로 自動轉換

☐ 推進計劃

- 擴充地域 : 儒城區廳, 大德區 瓦洞
- 可聽人口 : 約 20,000 名
- 總事業費 : 103,317 千원
- 事業期間 : '93. 3 ~ 9月
- 事業內容
 - 〔 電子式싸이렌 : 2 式
 - 有線受信裝置 : 2 式
 - 無線受信裝置 : 2 式

☐ 事業結果

- '92年度末 市全體 可聽率이 93%에서 95%로 向上
- 音聲 放送施設 兼用으로 平時에 地方行政 便益 圖謀

化生放裝備物資 確保

- 化生放裝備 物資의 持續的인 確保로 化生放災難對備 常時體制構築
- 脆弱地域 民防衛隊에 對한 防毒面 優先 確保

□ 推進方針

- 차질없는 豫算確保로 脆弱地域 民防衛隊에 防毒面 年次別 普及
- 國家行政機關 및 自治團體에 對한 防毒面 普及 擴大
- 一般隊員 및 住民에게 代替 裝備 自律確保 誘導

□ 推進計劃

- 地域民防衛隊의 年次別 防毒面 確保
 - ・ 年次計劃 : '92~ '96 (5個年)
 - ・ 普及計劃 및 確保量

(單位 : 個)

計	'92確保量	'93	'94	'95	'96
13,864	3,780	2,521	2,521	2,521	2,521

- 政府機關에 對한 追加所要量 確保 推進
 - ・ '93 確保計劃量 : 687個 (7,557千圓)
 - ・ 持續的인 確認指導點檢 實施 : 年2回 (5月.9月)
 - ※ 自體豫算確保
- 一般住民에 對한 裝備購入 啓導 強化
 - ・ 民防衛隊員 教育時 購買節次 (洞事務所→區廳) 弘報
 - ・ 有線放送, 班常會報等을 通한 購買 必要性 弘報

非常 對備 業務 推進

戰時, 事變 또는 이에 準하는 國家非常事態時에 政府機能維持,
軍事作戰支援, 國民生活安定 圖謀에 寄與함.

☐ 戰時對備力量 提高

○ '93 忠武計劃樹立 施行

- ・計劃樹立 (總 29個分野)
 - └ 施行計劃(市本廳) : 14個分野
 - └ 實施計劃(區 廳) : 15個分野
- ・計劃施行 : '93.1.1以後 現在 繼續

○ '93 動員業務推進

・'93動員指定業體 現況

- 業 種 : 建設, 交通, 商工分野等 7個 分野
- 指定業體 : 緊急復舊

※ 中央指定 25個業體, 市指定 107個業體

・動員指定業體 資源調查

- 期 間 : '93.3~4月 (1個月間)
- 對 象 : 132個 動員業體
- 方 法 : 中央과 市 合同으로 實態調査 및 申告調査並行

⇒ 各 區廳은 資源調査가 效率的으로 이루어지도록 區廳別 動員業體를 把握, 現況維持 및 事前 指導點檢 實施

- ・ 「動員資源確認의 날」 行事
 - 每分期 翌月 셋째週 木曜日 (年 4回)
 - 區廳別 産業,輸送,建設,重機分野 重点 實施

戰時, 事變 또는 이에 準하는 非常事態時 國家의 人力과 物資
등의 資源을 效率的으로 管理하여 國家安全保障 및 戰時對備力量을
提高할 수 있도록 業務推進

□ '93年度 乙支演習推進

- 國內外 安保環境의 變化로 演習時間, 方法, 重点, 參加範圍, 參觀, 弘報 및 報道等 多少 變動이 있을 것으로 豫想됨 -
 - 日 程 : '93.6月 下旬頃 (5泊6日)
 - 方 法 : 圖上 및 實際訓練 並行 實施
 - 重 点 : 中央單位 危機管理演習을 包含하여 忠武計劃檢討 및 地域別 實際訓練 爲主로 實施 (軍事作戰支援)
 - 乙支演習 '93 擴大實施
(參加機關 : 市,郡,區以上 全行政機關, 動員業體 및 團體)
- ・ 今年度 特殊施策 (市本廳)
 - 安保意識鼓吹 講演會 開催 : 歸順勇士, 參戰勇士等 講師 招聘
 - 安保觀 定立 세미나 開催 : 研究課題 發表, 檢討
- ・ 主要措置事項
 - 演習方針에는 큰 變動이 없다는 前提下에 正常的인 準備

EXPO自願奉仕者 募集運營管理

- EXPO'93에 關心이 있는 各界의 人士를 幅넓게 參與시켜 汎國民的 參與雰圍氣 造成
- 自願奉仕者의 參與로 行事運營經費를 節減하고 人力難에 圓滑히 對處하고자 함.

☐ 推進方針

- 自願奉仕者 募集은 長期間 自願奉仕 希望者를 優先 選拔
- 選拔者에 對한 事前 素養,專門(職務)교육과 現場教育을 綜合的으로 實施
- 自願奉仕의 圓滑한 管理 運營을 爲해 狀況室 運營

☐ 推進計劃

- 募 集
 - ・ 主要任務
 - 案内活動, 公衆秩序啓導, 行事補助
 - ・ 分野別 募集人員

計	VIP 案内	市 館	觀光案内	文化藝術	秩序啓導	野 營 場 運 營	豫備人員
525 名 (169)	32 (32)	112 (32)	72 (72)	48 (12)	96	64	101 (21)

※ () 內書는 通譯要員임.

○ 面 接

- ・ 期 間 : '93.1.11~1.17 (西區 民防衛教育場, 韓南大學校)
- ・ 人 員 : 964名 (一般739, 言語225)

○ 選 拔

- ・ 長期間 自願奉仕等 基準에 의한 採點 電算處理 : 2月中
- ※ 大田市 脫落者 組織委 吸收 豫定

○ 教育訓練

- ・ 段階別教育推進計劃

段階別	教育種類	時期	回数	教育主體
1段階	素養教育	3~4月	2回	教育訓練課
2段階	職務教育	4~7月	2回	主務課 (6個課)
3段階	職場教育 (綜合豫行練習)	6~7月	1回	"

※ 組織委員會外 合同教育(素養分野) 推進中

○ 自願奉仕者 管理

- ・ 狀況室 運營(7.1~11.30)
 - 勤務狀況 1日點檢 및 調整統制
- ・ 個人別 勤務部署 指定 (3月中)
- ・ 自願奉仕發隊式 (7月中 業務開始前)